

生徒指導の基本方針

大島特別支援学校 生徒指導部

学校教育目標

児童生徒一人一人の特性等に応じた教育を行い，良さや可能性を伸ばし 将来の自立と社会参加に向けての力を身に付け，心豊かにたくましく生きる人間を育成する。

1 生徒指導部の目標

- (1) 児童生徒一人一人が有意義で生きがいのある学校生活を営み，健全な個性の伸長に努めるとともに，社会の一員としての自覚と責任を持ち，社会に貢献しようとする人間を育成する。
- (2) 小学部…基本的な生活習慣の育成に努める。
中学部…社会集団や地域生活における必要な力の育成に努める。
高等部…最高学部生であることの自覚と，ステキな社会人に向けての実践力の育成に努める。

2 具体的方針

(1) 児童生徒理解のための指導の充実

- ・ 心の健康相談の積極的活用
- ・ 各学部の教育相談実施
- ・ 諸検査の結果等を踏まえた支援，指導

(2) 個人，集団における指導の充実

<すすんで明るく挨拶できる指導>

朝の挨拶運動

始業や終業時の挨拶指導

入退室時の挨拶指導

<身なりを整える指導>

制服を正しく着ること（TPOに合った服装など）

身だしなみを整えること

<規律とけじめのある行動>

時間を守る。

言葉遣い

命や物を大切にする。

諸届け出，許可願等提出

<人権意識の向上，規範意識の醸成>

<学園との連携（担当者会等）>

指導の一貫性をもたせる。

一貫性のある指導実践のための情報交換・共有に努める。

問題行動等の認識の一致を図る。

(3) 自主性を育成する生徒指導

- ・ 学校行事への積極的参加（運動会，学習発表会 他）
- ・ 児童生徒会活動の活性化（常時活動，学校行事の運営 他）
- ・ 情操の育成に関わる指導（芸術鑑賞，読み聞かせ会 他）
- ・ 性に関する指導（二次性徴，命の尊重 他）
- ・ 同好会活動の充実（作品展への出展，大会への出場，活動を通しての地域での交流 他）

(4) 問題行動を防ぐ予防的指導の充実

- ・ 年度初めの児童生徒の実態把握と共通理解
- ・ 他学部や他校種との情報交換
- ・ 関係機関との連携
- ・ 問題行動防止のための個別指導
- ・ 学部での生徒掌握と指導体制の強化（生徒理解の充実，見届ける指導の実践）
- ・ 保護者及び関係機関等との連携（指導の適正化，初期指導）
- ・ 心の健康相談の活用

3 生徒指導部の運営及び実践上の留意事項

- (1) 各係の業務は責任者を中心に，主体的・積極的に取り組むとともに，各係間の連携を図りながら，記録・資料等の整理と保全に努める。
- (2) 生徒指導部と他の分掌・学部との連携を図り，児童生徒の適切な指導に努める。
- (3) 学部を中心に児童生徒に関する情報交換を通して児童生徒の理解に努め，指導の基準や内容の共通理解を図る。
- (4) 生徒指導に係る課題については，全教職員一丸となって早期発見早期対応に努めるとともに，保護者や関係機関等との連携・協働の下，ケース会議等を企画・運営・実施し，早期解決を図る。
- (5) 支援内容及び方法についての評価を確実に行い，継続的な支援の必要性などについて協議する。
- (6) 教職員自らが自己研鑽・研修に努めるとともに，教育相談の充実を図りながら，説明責任が果たせるようにする。